

食道冷却用送液・吸引チューブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

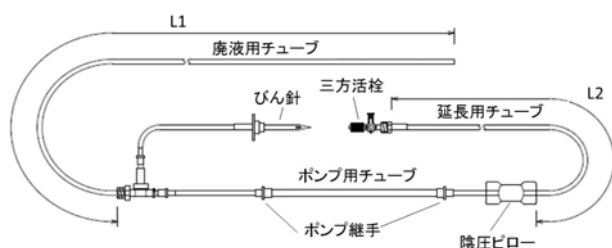
1. 使用方法
 - 1) 再使用禁止
 - 2) 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は、冷却した生理食塩液等を送液及び吸引する装置と、食道に留置するチューブとの接続に用いる柔軟性のあるチューブである。

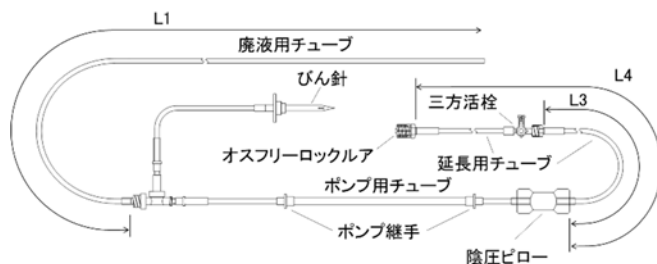
* 1) タイプ A



<寸法>

カタログ No.		ECFT-20100	ECFT-15150
廃液用チューブ	外径	4.0mm	
	内径	2.0mm	
	長さ (L1)	100cm	
延長用チューブ	外径	4.0mm	
	内径	2.0mm	1.5mm
	長さ (L2)	100cm	150cm

* 2) タイプ B



* <寸法>

カタログ No.		ECFT-1515A
廃液用チューブ	外径	4.0mm
	内径	2.0mm
	長さ (L1)	100cm
延長用チューブ	外径	4.0mm
	内径	1.5mm
	長さ (L3)	40cm
	長さ (L4)	153cm (三方活栓含む)

2. 材質

ポリ塩化ビニル（可塑剤：トリメリット酸トリス（2-エチルヘキシル））、ABS 樹脂、ポリカーボネート

3. 原理

冷却した生理食塩液等を送液及び吸引する装置と、食道に留置するチューブを接続することにより、生理食塩液等の送液及び吸引を行う。

【使用目的又は効果】

本品は、冷却した生理食塩液等を送液及び吸引する装置と、食道に留置するチューブを接続し、食道を冷却するために用いる。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- ① びん針を生理食塩液等の輸液バックに刺入する。
- ② ポンプ継手、ポンプ用チューブ、陰圧ピローを東レ食道冷却システム（以下 専用装置）の所定位置にセットする。
- ③ 廃液用チューブの端部を廃液容器に置く。
- * ④ タイプ A の場合には三方活栓、タイプ B の場合にはオスフリーロックを食道冷却チューブに接続する。
- ⑤ 本品と食道冷却チューブ内のエア抜きを行う。

2. 食道冷却

- ① 専用装置の操作方法に従い、食道を冷却する。

<組み合わせで使用する医療機器>

販売名	構成品	承認番号等
東レ食道冷却システム	食道冷却装置	30200BZX00251000
SATAKE・HotBallloon カテーテル	食道冷却チューブ	22700BZX00355000

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 使用前の注意

- 1) 組み合わせで使用する医療機器の添付文書及び取扱説明書をよく読むこと。
- 2) 三方活栓と食道冷却チューブの間に他のチューブを連結しないこと。[適切な流量が得られない可能性がある]

2. 使用中の注意

- 1) 使用中は、びん針、三方活栓の外れがないことを定期的に確認すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) チューブ等が身体の下等に挟まれないよう注意すること。[チューブ等の折れ、閉塞、破損等のおそれがある]
- 2) チューブの接合部には過度に引張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意すること。[チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがある]
- 3) 急激な吸引は行わないこと。[本品が閉塞する恐れがある]
- 4) 本品が閉塞した場合は、詰まりを解消するための操作は行わず、チューブを取り換えること。

2. 不具合・有害事象

本品の使用に伴い、以下のような不具合又は有害事象が発生する場合があります。但し、以下に限定されるものではない。

- 1) 重大な不具合
製品の破損、チューブ内閉塞、漏れ
- 2) 重大な有害事象
感染症

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法：

高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。

2. 有効期間：

本品の包装に記載されている使用期限までに使用すること。

（自己認証による）

例) 2023-05-01 は「2023 年 5 月 1 日」を示す。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

東レ株式会社

TEL 03 (3245) 5144

〔連絡先〕

東レ株式会社

TEL 03 (3245) 6372

〔製造業者〕

三矢メディカル株式会社

〔販売業者〕

東レ・メディカル株式会社

TEL 03 (6262) 3822